



平成 29 年度全国理科教育大会
第 88 回日本理化学協会総会

埼玉大会のご案内

「未来を拓く理科教育」 ～主体的・協働的学びの創造～

教 育 長 様
高 等 学 校 長 様
特 別 支 援 学 校 長 様
中 等 教 育 学 校 長 様
中 学 校 長 様
小 学 校 長 様
理 科 教 育 関 係 職 員 様

日本理化学協会会長 赤石 定治
埼玉大会運営委員長 関 俊秀

2016年10月、ノーベル生理学・医学賞を東京工業大学の岡田良典名誉教授が受賞されました。また、埼玉県和光市の理化学研究所で発見された113番元素の名称が「ニホニウム(nihonium)」（元素記号:Nh）と決定したことが11月に発表されました。岡田先生は、未来を担う子供たちに対して『本当に「あれ？」と思うことがたくさん世の中にはあって、そういうことの気づきをとっても大事にしてほしい』とエールを贈られ、ニホニウムを発見したチームの代表者である九州大学の森田浩介教授は、「科学を習い始めた子たちが、元素の名称をみて誇らしく感じ、科学に興味を持ってくれたら、意義を果たしたことになる」と語られました。

グローバル化が進む中で、これからは知識の量だけでなく、知識を活用する力や知識を生かして物事を解決する力が問われる時代と言われています。次期学習指導要領では育成すべき資質・能力を「三つの柱」（「何を理解しているか、何ができるか（知識・技能）」「理解していること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）」）と整理しています。「主体的・対話的で深い学び」を通してそれらの資質・能力を育成するためには、私たちが教えることにしっかりと関わり、資質・能力育成に必要な学びの在り方を絶え間なく考え、授業の工夫・改善を重ねていくことが不可欠です。

埼玉大会はこのような状況の下、『「未来を拓く理科教育」～主体的・協働的学びの創造～』を主題とし、平成29年8月8日から10日まで、埼玉県川越市にあるウェスタ川越と川越市立川越高等学校を会場に開催いたします。今大会の研究協議では、主体的・協働的学びの創造についてより活発な協議ができるよう二部構成といたしました。

理科教育に携わる関係の皆様が、研究発表や研究協議等を通じてお互いの研修を深め、未来を拓く理科教育を考える大会が、埼玉の地で開催されることを大変喜ばしく思います。会場となる川越市は小江戸とも呼ばれ、旧跡や歴史的建造物も多く、蔵づくりの風情ある町並みがございます。今大会に参加の皆様にも、埼玉の魅力を堪能して頂けることと、大いに期待しております。つきましては、会員の皆様の積極的な参加を心よりお待ちしております。

主催	日本理化学協会 埼玉県高等学校理化研究会・生物研究会
後援	文部科学省 全国都道府県教育委員会連合会 埼玉県教育委員会 川越市教育委員会 茨城県教育委員会 群馬県教育委員会 千葉県教育委員会 山梨県教育委員会 栃木県教育委員会 神奈川県教育委員会 (公社)日本理科教育振興協会 日本物理教育学会 (公社)日本化学会 日本生物教育会 日本地学教育学会 全国小学校理科研究協議会 全国中学校理科教育研究会 (公財)日本教育公務員弘済会埼玉支部 (予定を含む)
期日	平成29年8月8日(火)、9日(水)、10日(木)
会場	ウェスタ川越(〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1丁目17-17) 川越市立川越高等学校(〒350-1126 埼玉県川越市旭町2丁目3番地7)
大会事務局	運営委員長 川越市立川越高等学校 校長 関 俊秀 運営副委員長 埼玉県立蕨高等学校 校長 磯貝 明宏 運営副委員長 埼玉県立誠和福祉高等学校 校長 中村 篤 事務局 長 川越市立川越高等学校 教諭 藤井 喜英
E-mail	city-kawagoe@hotmail.co.jp (川越市立川越高等学校 藤井 喜英)
Web サイト	http://conv.toptour.co.jp/shop/evt/rikataikai29/

平成 29 年度全国理科教育大会
第 88 回日本理化学協会総会
埼 玉 大 会 概 要

大会主題

「未来を拓く理科教育」 ～主体的・協働的学びの創造～

大会の主旨

全国の高等学校等の理科教職員、理科関係者が一堂に会し、講演、研究発表、研究協議などを通して、学習指導要領のもと、興味・関心を喚起し、自らの生きる力を育む魅力ある理科教育の在り方及びよりよい指導方法を探る。

大会日程

第 1 日 8 月 8 日(火) ウェスタ川越(埼玉県川越市新宿町 1 丁目 17 番地 1)

	12:00	12:30	13:20	13:30	14:00	15:00	16:00	17:00
受 常 務 理 事 会 付	常 務 理 事 会	大会事前 打ち合せ		全 国 理 事 会 研 究 代 表 者 研 究 協 議 会 受 付	全 国 理 事 会	文 部 科 学 省 講 話	研 究 代 表 者 会 議 並 び に 研 究 協 議 会	
ウェスタ川越								

第 2 日 8 月 9 日(水) ウェスタ川越・川越市立川越高等学校(埼玉県川越市旭町 2 丁目 3 番地7)

	8:30	9:00	9:50	10:00	11:00	12:30	14:00	14:30	15:50	16:00	17:00	18:00	20:00
受 付	開 会 式 及 び 表 彰 式	写 真 撮 影	総 会	記 念 講 演	昼 食 移 動	研 究 代 表 及 び 研 究 協 議 打 合 せ	研 究 協 議 第 1 部	研 究 協 議 第 2 部	移 動	教 育 懇 談 会			
ウェスタ川越						川越市立川越高等学校						ラホアラクテ	

※ 科学の広場 10:00～17:00 川越市立川越高等学校

第 3 日 8 月 10 日(木) 川越市立川越高等学校(埼玉県川越市旭町 2 丁目 3 番地7)

	8:30	9:00			11:50	12:00	12:30
受 付	研 究 発 表	閉 会 式	移 動	コ ー ス 別 研 修 (昼 食 含 む)			
川越市立川越高等学校							

※ 科学の広場 9:00～14:00 川越市立川越高等学校 14:00

※大会参加の際には、Web サイトより大会申込み後に各自参加券を印刷してお持ち下さい。

文部科学省講話 8月8日(火) 15:00~16:00 ウェスタ川越 大ホール

演題 「 これからの理科教育の展開 」

講師 文部科学省初等中等局主任視学官 清原 洋一 氏

記念講演

8月9日(水) 11:00~12:30 ウェスタ川越 大ホール

演題 「 神岡での基礎科学研究 」

講師 東京大学宇宙線研究所所長 梶田 隆章 氏

研究協議

8月9日(水) 14:30~17:00 川越市立川越高等学校

【第1部】 14:30 ~ 15:50

第1分科会 「アクティブラーニング型授業等による物理教育の充実」

生徒が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見出していく、物理教育の在り方について研究協議する。

第2分科会 「アクティブラーニング型授業等による化学教育の充実」

生徒が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見出していく、化学教育の在り方について研究協議する。

第3分科会 「アクティブラーニング型授業等による生物教育の充実」

生徒が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見出していく、生物教育の在り方について研究協議する。

第4分科会 「アクティブラーニング型授業等による地学教育の充実」

生徒が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見出していく、地学教育の在り方について研究協議する。

第5分科会 「小・中学校との連携を考えた高等学校理科教育」

身近な自然の観察、実験を通して興味・関心持つことから始まり、高度な科学的自然観や探究心の育成につながる理科教育において、子どもたちの連続性を確保する観点から小・中学校とのより良い連携について研究協議する。

【第2部】 16:00 ~ 17:00

第1分科会 「未来を拓く物理教育」

思考力、判断力、表現力を育み、科学的な自然観を育成するために物理教育はどうあるべきか、探究する力をいかに育むかについて研究協議する。

第2分科会 「未来を拓く化学教育」

思考力、判断力、表現力を育み、科学的な自然観を育成するために化学教育はどうあるべきか、探究する力をいかに育むかについて研究協議する。

第3分科会 「未来を拓く地学教育」

思考力、判断力、表現力を育み、科学的な自然観を育成するために地学教育はどうあるべきか、探究する力をいかに育むかについて研究協議する。

第4分科会 「未来を拓く生物教育」

思考力、判断力、表現力を育み、科学的な自然観を育成するために生物教育はどうあるべきか、探究する力をいかに育むかについて研究協議する。

第5分科会 「大学との連携を考えた高等学校理科教育」

身近な自然の観察、実験を通して興味・関心持つことから始まり、高度な科学的自然観や探究心の育成につながる理科教育において、大学とのより良い連携について研究協議する。

研究発表

8月10日(木) 9:00~12:00 川越市立川越高等学校

物理分野 (2~3 会場)
化学分野 (2~3 会場)
地学分野 (1~2 会場)
生物分野 (1~2 会場)
実験・実習分野 (1 会場)

※ 実験・実習分野については、先生方だけでなく、各都道府県によって名称が異なりますが、理科実習教諭、理科実習教員、理科実習助手等の先生方の発表もお待ちしております。

科学の広場

8月 9日(水) 10:00~17:00 川越市立川越高等学校
8月10日(木) 9:00~14:00 川越市立川越高等学校

コース別研修

8月10日(木) 12:30~

Aコース……理化学研究所見学コース

12:30 市立川越高校 → 13:30 理化学研究所(講義・見学)16:30 → 17:30 大宮駅

Bコース……日本薬科大学、鉄道博物館見学コース

12:30 市立川越高校 → 13:30 日本薬科大学(漢方資料室見学等)14:30 →
15:00 大宮鉄道博物館(800円)17:20 …… 17:30 大宮駅

Cコース……鳩山 JAXA 地球観測センター見学、東松山サメの歯化石採集体験コース

12:30 市立川越高校 → 13:10 鳩山地球観測センター14:20 → 14:50 東松山市葛袋
(レクチャー・化石採集体験・1,000円)16:50 → 17:30 川越駅

教育懇談会

8月9日(水) 18:00~20:00

会場：ラ・ボア・ラクテ(埼玉県川越市脇田本町 22-5)

参加費：4,000円

申込み：大会参加申込時にあわせてお申し込みください。

大会参加申込要領

《参加費》 大会参加費7,500円【参加費3,000円・資料代4,500円：会誌第1号・第2号及び研究発表論文(資料)集の実費と会誌第2号の送料を含みます。】

《申込締め切り》 平成29年6月9日(金) (必着)

《申込方法》 下記の埼玉大会Webサイトにて大会要項等を確認の上、お申込専用ページからお申してください。
※役員、座長、意見提示者、研究発表者の方々を含め、参加される全ての方が申込手続きをしてください。
埼玉大会Webサイト
<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/rikataikai29/>

《大会参加受付等取扱業者》 東武トップツアーズ(株)埼玉西支店
「平成29年度全国理科教育大会・第88回日本理化学協会総会」係
担当 関根 武(せきね たけし)、小穴 玄太(おあな げんた)
〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町13-5 川越第一生命ビルディング5F
TEL：049-257-4365 営業時間 平日：9:00~18:00 休：土・日曜・祝日

参加にあたってのお願い

1 「会誌第2号」について

大会の経過、講演、研究協議会の内容を収録するほか、日本理化学協会の活動状況、理事会・研究代表者会議の議事録などをまとめ、参加者全員に申込書の送付先へ後日お送りします。なお、代金・送料は資料代に含まれています。また、会誌第1号と研究発表論文(資料)集は大会当日にお渡します。

2 研究発表を希望される方へ

- (1) 研究発表の内容は、理科教育現場の実践・指導などに関するものとします。学術的なものや学校の授業とかけ離れたものはご遠慮ください。
- (2) 研究発表の申込の期限は **6月9日(金)** です。大会参加の申し込みと同時に埼玉大会 Web サイトのお申込専用ページからお申し込みください。
- (3) 研究論文(資料)集原稿を作成してください。**執筆要領と提出方法の詳細は p7** を参照してください。原稿の締め切りは **6月16日(金)** です。原稿は電子データをメールの添付ファイルで、印刷した紙原稿を郵送で、**それぞれ提出**してください。2種類の原稿を受理次第、返信メールを差し上げます。返信がない場合は下記問合せ先までご連絡ください。
- (4) 発表は研究発表論文(資料)集原稿に沿って行ってください。
- (5) 大会事務局で用意する使用機器は、ノートパソコン(Windows10、Office2013 をインストール済)、液晶プロジェクターです。機器の調整は8月9日(水)13:30~14:00に、川越市立川越高等学校(各会場教室)で可能です。持ち込みのノートパソコンも使用できます。但し、プロジェクターとの接続はVGA(RGB)端子です。
- (6) 研究発表者及び座長の打合せを8月9日(水)14:00~14:30に各会場教室で行います。

原稿提出先および原稿に関する問合せ先

埼玉県立鳩山高等学校 教諭 小林 邦佳(こばやし くによし)

〒350-0313 埼玉県比企郡鳩山町松ヶ丘 4-1-2 TEL 049-296-5395

E-mail kobayashi.kuniyoshi.18@spec.ed.jp

※ 原稿以外の研究発表に関する問合せ先は裏表紙をご参照ください。

3 座長、研究協議意見提示者の方へ

- (1) 研究発表及び研究協議の座長、研究協議意見提示者として依頼された方は、日本理化学協会本部(企画運営部)より文書で連絡します。
- (2) **意見提示者**は、意見提示要旨原稿を作成して提出してください。**執筆要領と提出方法は p8** を参照してください。原稿の締め切りは **6月9日(金)** です。原稿は**電子データ**をメールの添付ファイルで、印刷した紙原稿を郵送で、それぞれ提出してください。2種類の原稿を受理次第、返信メールを差し上げます。返信がない場合は下記問合せ先までご連絡ください。
- (3) 意見提示に使用できる機器は研究発表の場合と同じです。機器の調整は、8月9日(水)13:30~14:00に、川越市立川越高等学校(各会場教室)で可能です。
- (4) 研究協議意見提示者及び座長の打合せを、8月9日(水)14:00~14:30に、各会場教室で行います。

原稿提出先および原稿に関する問合せ先

埼玉県立鳩山高等学校 教諭 小林 邦佳(こばやし くによし)

〒350-0313 埼玉県比企郡鳩山町松ヶ丘 4-1-2 TEL 049-296-5395

E-mail kobayashi.kuniyoshi.18@spec.ed.jp

※ 原稿以外の研究発表に関する問合せ先は裏表紙をご参照ください。

4 科学の広場(ポスターセッション、展示等)を希望される方へ

- (1) 科学の広場は2日間開催します。 場所:川越市立川越高等学校
大会第2日目 8月9日(水) 10:00~17:00
大会第3日目 8月10日(木) 9:00~14:00

- (2) 申し込み締め切りは **6月9日(金)**です。販売を行う場合、ブース料として 3,000 円をいただきます。
(8月9日(水)に川越市立川越高校の受付にてお支払いください)
「科学の広場」は情報交換の場として非常に有意義な場でもあります。各都道府県の研究会誌及び自作教材の紹介を「科学の広場」にて行うことを歓迎いたします。
- (3) 1 ブロックの床面は 2m×4m程度です。展示用パネル 1 台、机を利用できます。必要事項を、**科学の広場参加申込書**に記入し、下記担当者宛にメールにてご提出ください。なお、使用可能電力はノートパソコン程度です。

科学の広場に関する問合せ先

埼玉県立寄居城北高等学校 教諭 長沢 博貴(ながさわ ひろき)

〒369-1202 埼玉県大里郡寄居町桜沢 2601 TEL 048-581-3111 FAX 048-580-1011

E-mail nagasawa.hiroki.fc@spec.ed.jp

5 昼食について

8月9日(水)の昼食をご希望の方は大会参加申込時に合わせてお申し込みください。

6 宿泊の予約について

東武トップツアーズ(株)埼玉西支店(裏表紙を参照して下さい)が斡旋しています。ご希望の方は大会参加申込時に合わせてお申し込みください。

7 教育懇話会について

8月9日(水)18:00~20:00の予定です。ラ・ボア・ラクテにて行います。参加費は 4,000 円です。ご希望の方は大会参加申込時に合わせてお申し込みください。

8 コース別研修について

コース別研修は 8月10日(木)午後に 3つのコースを予定しています。p4 をご参照いただき、大会参加申込時に合わせてお申し込みください。別途参加費(昼食代含む)がかかります。なお、希望人数が少ない場合には、実施されないコースもあります。

9 埼玉大会関係 Web サイト

日本理化学協会 HP <http://nirika.jp/>

全国理科教育大会埼玉大会用 HP <https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/rikataikai29/>

お問い合わせメールアドレス rikataikai29@tobutoptours.co.jp

研究発表論文(資料)集原稿執筆要領

研究発表を希望される方は、次の執筆要領を参考にして執筆をお願いします。なお、発表申込と同時に大会参加申込をお願いします。

論文集原稿の執筆要領

1 作成にあたって

必ず埼玉大会Webサイトよりテンプレートをダウンロードしてご利用下さい。Wordまたは一太郎ファイルで作成し、作成したWordまたは一太郎ファイルとそのPDFファイルの2種類を提出願います。

2 用紙サイズ・ページ数および字数

用紙サイズはA4サイズ、上下左右に18mmの余白をとって下さい。1件の発表につき2ページまたは4ページのいずれかです。1ページは42字×45行です。題目・著者名・所属名・要約文・キーワードまでは1段組ですが、本文からは20字×45行の2段組にして下さい。中央は2字文(一太郎設定では9mm)を空白とします。

3 題目

文字サイズは12ポイントで、題目のみの場合は2行とり(1行目と2行目を使う)中央に配置して下さい。副題がある場合は1行目に題目を書き、次の2行目に文字サイズ10ポイントで副題を配置して下さい。題目・副題いずれも中央に配置して下さい。フォントは題目・副題ともMSゴシックとします。以降、全てのフォントはMS明朝で文字サイズは10ポイントとします。

4 所属と著者名

4行目と5行目を使い、著者名、所属を2行使って上下揃えて下記、左右中央において下さい。所属は〇〇県立〇〇高等学校のように、正式名を記して下さい。

5 要約文

発表の要旨を5行の要約文として書いて下さい。冒頭に【要約】と書き、続いて7行目から11行目までを使って要約文を書いて下さい。

6 キーワード

発表論文の内容を最もよく表すキーワードを12行目に【キーワード】と書いた後に10ワード以内で書いて下さい。

7 本文

14行目から20字×45行の2段組10ポイントで、各ページ左段の次に右段の順序で書いて下さい。ページの番号は印字しないで下さい。内容構成は概ね[1 はじめに 2 調査方法 3 結果 4 今後の課題 5 文献]の形式をとり、小題目は太字で強調して下さい。

8 画像・図・表・写真

必ずレイアウト上に貼り付けて下さい。2段組の中央2文字文の空白にかかっても構いません。写真は白黒の濃淡の鮮明なものをお勧めします。研究発表論文は白黒印刷のため、カラー写真は期待通りの表現にならない場合があります。ご了承下さい。

提出方法及び締め切り・提出先

原稿は電子データをメールに添付ファイルで、印刷した原稿は郵送で、それぞれ提出して下さい。

電子データは Word または一太郎ファイルと PDF ファイルの2種類を送付して下さい。メールの添付ファイルは一件最大 25MB までですが、容量を超える際には分割して送付していただいてもかまいません。メールの送付の際、件名に「全国理科教育大会埼玉大会研究発表論文原稿」と明記し、メール本文中には、分科会名、所属、氏名、使用した Word または一太郎のバージョンを併記して下さい。

なお、紙原稿は印刷時のレイアウトのずれや字の誤変換を確認するために使用します。提出の前によくご確認ください。全ての原稿を受理次第、返信メールを差し上げます。返信がない場合は下記までお問い合わせ下さい。

研究発表の申込締め切りは 6月9日(金)、研究発表論文原稿の提出締め切りは 6月16日(金)です。

原稿提出先および原稿に関するお問い合わせ先

埼玉県立鳩山高等学校 教諭 小林 邦佳(こばやし くによし)

〒350-0313 埼玉県比企郡鳩山町松ヶ丘 4-1-2

TEL 049-296-5395 FAX 049-298-1011

E-mail kobayashi.kuniyoshi.18@spec.ed.jp

研究協議における意見提示要旨原(会誌第1号用)稿執筆要領

研究協議において意見提示される方は、次の執筆要領を参考にして執筆をお願いします。なお、同時に大会参加申込をお願いします。

意見提示要旨原稿の執筆要領

1 作成

必ず埼玉大会 Web サイトよりテンプレートをダウンロードしてご利用下さい。Word または一太郎ファイルで作成願います。 埼玉大会 Web サイトは <http://>

テンプレートは A4 サイズ、上 20mm・下 27mm。左右 19mm の余白となっています。1 ページは 48 字×49 行で、下半分のスペースのみ記載して下さい。以下、記載スペースについての説明です。

2 題目

「意見提示要旨」と左詰で記載後、題目は中央に書きます。いずれも MSゴシック太字です。文字サイズは 11 ポイントです。

3 所属と著者名

1行あけた後、所属、著者名を1行を使って右に置きます。所属は MS明朝体で、「〇〇県立〇〇高等学校」のように正式名を、著者名は MSゴシック太字で書いて下さい。文字サイズは 10 ポイントです。

4 本文

次の行から 23 字×20 行の 2 段組です。中央は 2 字文(一太郎では 7mm)を空白とします。各ページ左段の次に右段の順序で記載していきます。「1 はじめに」等の項目題は MSゴシック太字で、本文は MS明朝です。いずれも文字サイズは 10 ポイントです。

5 画像・図・表・写真を必要とする場合。

必ずレイアウト上に貼り付け、図も含めて本文が、上記の通り本文 20 行 2 段組枠内で収まるようにして下さい。また、写真は白黒の濃淡の鮮明なものをお勧めします。白黒印刷のため、カラー写真は期待通りの表現にならない場合があります。ご了承下さい。

提出方法及び締め切り・提出先

原稿は電子データをメールに添付ファイルで、印刷した原稿は郵送で、それぞれ提出して下さい。

電子データは Word または一太郎ファイルと PDF ファイル の 2 種類を送付して下さい。メールの添付ファイルは一件最大 25MB までですが、容量を超える際には分割して送付していただいてもかまいません。メールの送付の際、件名に「全国理科教育大会埼玉大会意見提示要旨原稿」と明記し、メール本文中には、分科会名、所属、氏名、使用した Word または一太郎のバージョンを併記して下さい。

原稿を受理次第、返信メールを差し上げます。返信がない場合は下記までお問い合わせ下さい。なお、画像を使用された場合、改めてレイアウト確認のため FAX の送付をこちらからお願いする場合がございます。ご了承下さい。

原稿の提出期限は 6 月 9 日(金) です。

原稿提出先および原稿に関するお問い合わせ先

埼玉県立鳩山高等学校 教諭 小林 邦佳(こばやし くによし)

〒350-0313 埼玉県比企郡鳩山町松ヶ丘 4-1-2

TEL 049-296-5395 FAX 049-298-1011

E-mail kobayashi.kuniyoshi.18@spec.ed.jp

会場へのアクセス

会場には一般の駐車場スペースに限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、荷物の搬入などで車の乗り入れを希望される場合は大会事務局までご相談ください。

○ ウェスタ川越

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 1-17-17 TEL 049-249-3777

<http://www.westa-kawagoe.jp/access/>

JR 川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約 5 分

西武新宿線「本川越駅」より徒歩約 15 分

<本川越駅よりバスをご利用の場合>

西武バス乗り場①番

本 53、本 54 系統「ウェスタ川越前」下車すぐ

西武バス乗り場②番

川越 35、川越 35-1 系統「ウェスタ川越前」下車すぐ

○ 川越市立川越高等学校

〒350-1126 埼玉県川越市旭町 2-3-7 TEL 049-243-0800

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/>

[kosodatekyoiku/sho-chu-ko-shien/kotogakko/annai.html](http://www.kosodatekyoiku/sho-chu-ko-shien/kotogakko/annai.html)

JR 川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約 15 分

西武新宿線「本川越駅」より徒歩約 25 分

<本川越駅よりバスをご利用の場合>

西武バス乗り場①番川越駅西口經由「今福中台」行「市立高校前」下車すぐ

○ ウエディングホール ラ・ボア・ラクテ

〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町 22-5 TEL 0120-65-7739 (代表番号)

<http://www.lvl.co.jp/access.php>

JR 川越線、東武東上線「川越駅」西口下車徒歩 3 分

西武新宿線「本川越駅」下車徒歩 12 分

ラ・ボア・ラクテ
(教育懇談会会場)



「日本理化学協会研究紀要第49巻」の発行と申込について

研究紀要の内容は、各年度の全国大会における研究発表・研究協議各分科会での発表概要及び各支部会誌に発表されたものの中から、論文審査委員会の選考を経て収録されたものです。

研究紀要送付を希望される方は、「個人会員登録および研究紀要申込書」(本誌)に所定の事項を記入のうえ郵送または FAX にて、日本理化学協会事務局(下記住所・FAX)までお送り下さい。

代金は、後日振替用紙を発送しますので、2,000 円(手数料なし)を振り込んで下さい。

その年の研究紀要発行は、各年度の 3 月末の予定です。バックナンバーも(第 48 巻は 2,000 円、それ以前のもの 1,000 円)で配布します。バックナンバーの在庫については電話または FAX にて日本理化学協会事務局までお問い合わせ下さい。

送付先不明瞭のため返送される場合がありますので、記入にご配慮下さい。

個人会員登録および研究紀要申込書

平成 29 年 ___ 月 ___ 日

本年度個人会員登録を希望します。研究紀要を下記宛にお送り下さい。

送付希望研究紀要(a 本年度分 b バックナンバー の a、b に○を付けてください)

a 平成 29 年度研究紀要(第49巻)(1冊 2,000 円)

b バックナンバー(第 ___ 巻、第 ___ 巻、第 ___ 巻、第 ___ 巻、第 ___ 巻)

※第 48 巻は 2,000 円、それ以前のもの 1,000 円)

★申込者

氏 名
自宅住所
〒 -

勤務先名称

勤務先住所
〒 -

★研究紀要送付先(楷書で大きく書いて下さい。また、フリガナをつけてください)

フリガナ
住 所
〒 -

フリガナ
氏 名

日本理化学協会

事務局 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-11-2 巣鴨陽光ハイツ 206

TEL 03-3944-3290 FAX 03-3944-3295

締め切り

大会参加申込	締め切り…………平成 29 年 6 月 9 日(金)
研究発表申込	締め切り…………平成 29 年 6 月 9 日(金)
科学の広場申込	締め切り…………平成 29 年 6 月 9 日(金)
コース別研修申込	締め切り…………平成 29 年 6 月 9 日(金)
教育懇話会申込	締め切り…………平成 29 年 6 月 9 日(金)
研究発表論文原稿	締め切り…………平成 29 年 6 月 16 日(金)
研究協議意見提示要旨原稿	締め切り…………平成 29 年 6 月 16 日(金)

問合わせ先

原稿に 関すること	埼玉県立鳩山高等学校 教諭 小林 邦佳 TEL 049-296-5395 E-mail kobayashi.kuniyoshi.18@spec.ed.jp
研究協議 及び 研究発表に 関すること	《物理》埼玉県立大宮高等学校 教諭 渋谷 平 TEL 048-641-0931 E-mail shibuya.masaru.90@spec.ed.jp 《化学》埼玉県立桶川高等学校 教諭 児玉 浩章 TEL 048-728-4421 E-mail kodama.hiroaki.aa@spec.ed.jp 《生物》埼玉県立坂戸高等学校 教諭 藤本 午郎 TEL 049-281-3535 《地学》埼玉県立浦和東高等学校 教諭 飯田 和明 TEL 048-878-2113 E-mail iida.kazuaki.bf@spec.ed.jp 《実験・実習》埼玉県立越谷北高等学校 実習教員 伊藤佐知子 TEL 048-974-0793 E-mail itou.sachiko.e3@spec.ed.jp 《小中高大連携》川越市立川越高等学校 教諭 藤井 喜英 TEL 049-243-0800 E-mail city-kawagoe@hotmail.co.jp
科学の広場に 関すること	埼玉県立寄居城北高等学校 教諭 長沢 博貴 TEL 048-581-3111 E-mail nagasawa.hiroki.fc@spec.ed.jp
大会全般に 関すること	川越市立川越高等学校 教諭 藤井 喜英 TEL 049-243-0800 E-mail city-kawagoe@hotmail.co.jp

大会会場

8月 8日(火)	ウェスタ川越(12:00~17:00) 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 1-17-17 TEL 049-249-3777
8月 9日(水)	ウェスタ川越(8:30~12:30) 川越市立川越高等学校(10:00~17:00) 〒350-1126 埼玉県川越市旭町 2-3-7 TEL 049-243-0800
8月 10日(木)	川越市立川越高等学校(8:30~14:00)

大会事務局

運営委員長 川越市立川越高等学校 校長 関 俊秀
〒350-1126 埼玉県川越市旭町 2-3-7 TEL 049-243-0800

運営副委員長 埼玉県立蕨高等学校 校長 磯貝 明宏
〒335-0001 埼玉県蕨市5丁目 3-8 TEL 048-443-2473

運営副委員長 埼玉県立誠和福祉高等学校 校長 中村 篤
〒348-0024 埼玉県羽生市神戸 706 TEL 048-561-6651

事務局 長 川越市立川越高等学校 教諭 藤井 喜英
〒350-1126 埼玉県川越市旭町 2-3-7 TEL 049-243-0800

全国理科教育大会埼玉大会 Web サイト

<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/rikataikai29/>

大会全般の宿泊、交通、観光について

東武トップツアーズ株式会社 埼玉西支店 関根 武(せきね たけし)、小穴 玄太(おあな げんた)
〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町 13-5 川越第一生命ビルディング 5F
TEL 049-257-4365 営業時間 平日: 9:00~18:00 休: 土・日曜・祝日
E-mail rikataikai29@tobutoptours.co.jp